

令和8年9月10日

各報道機関文教担当記者 様

研究・教育双方で共同利用拠点に認定されている全国唯一の臨海・臨湖実験所 能登半島地震で被災した環日本海域環境研究センター 臨海実験施設が利用再開へ 9／16内見会実施

金沢大学環日本海域環境研究センター（以下、環日センター）は、文部科学省共同利用・共同研究拠点「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」として継続認定されています。また、環日センターの臨海実験施設は、教育関係共同利用拠点「環日本海域を中心とした持続可能な先端的環境学・保全学に関する教育共同利用拠点」に認定されており、このたび第4期（令和9年度～令和14年度）の継続認定を受けました。

臨海実験施設は、教育面の共同利用に加え、越境汚染をはじめとする海洋環境汚染に関する豊富な研究実績を有しています。教育・研究の両面で共同利用拠点に認定されている臨海・臨湖実験所は、全国唯一です。

令和6年能登半島地震により、護岸や崖が大規模に崩壊し、施設は大きな被害を受けました。崩壊した崖の復旧工事の完了を受けて、令和7年6月から暫定的に運用を行っていましたが、令和8年8月末に護岸の復旧工事が完了し、調査実習船による乗船実習や、実習室・講義室を活用した教育研究活動を再開できることになりました。（別紙参照）

これらの復旧状況をご覧いただくため、内見会を実施します。

つきましては、取材・報道をよろしくお願いします。

環日本海域環境研究センター臨海実験施設 内見会

日 時：令和8年9月16日（水）13時00分～14時00分

会 場：臨海実験施設（鳳珠郡能登町小木4-1）

出席者：金沢大学理事（総務・財務・施設担当）/副学長 滝波 泰

環日本海域環境研究センター センター長 鈴木 信雄 教授、

木谷 洋一郎 准教授、関口 俊男 准教授、

小木曾 正造 技術専門職員 ほか

内 容：施設概要説明、施設案内（護岸、栈橋周辺）、

調査実習船「あおさぎ」船上から臨海実験施設を案内

取材を希望する場合は、9月14日（月）17時00分までに以下の問い合わせ先へメールでお申し込みください。

【本件に関する問い合わせ先】

金沢大学理工系事務部総務課環日センター支援係 西尾

TEL：076-234-6821

E-mail：k-inet.jurc@adm.kanazawa-u.ac.jp

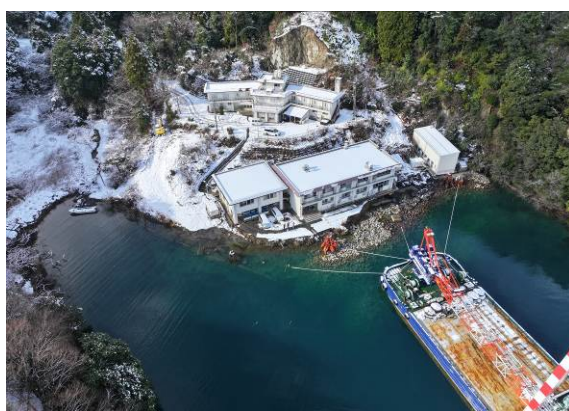
【災害復旧工事写真】※（括弧）は撮影日を示す



護岸復旧工事・完成（R8. 8. 31）



護岸復旧工事・基礎捨石投入完了（R8. 3. 17）



護岸復旧工事・基礎捨石投入中
崖復旧工事・法面補強中（R8. 1. 6）



護岸復旧工事・二次災害防止対策（基礎
地盤浸食防護）完了（R6. 11. 28）



令和6年能登半島地震発災時（R6. 1. 10）



被災前の臨海実験施設